

(1)地層区分及びユニット区分

開削調査箇所(南側)における各種観察・分析・測定結果の掲載頁

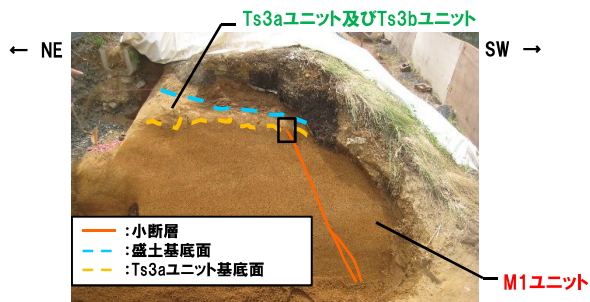
一部修正(R3/2/12審査会合)

地層区分	ユニット区分	研磨片観察・X線CT画像観察	薄片観察	礫種・礫の形状調査	火山ガラスの屈折率測定・主成分分析	重鉱物の屈折率測定・主成分分析	斜長石の屈折率測定・主成分分析	硬度測定	
盛土	—	—	・P243～P245 ・P246～P247 ・P254～P255 ・補足説明資料1.1章	—	・P266～P269 ・P272～P273	・P266～P269	—	・補足説明資料1.1章	
斜面堆積物	Ts3	Ts3b	・P240～P241	・P243～P245 ・P248～P251 ・P256～P257 ・補足説明資料1.1章	・補足説明資料1.1章	・P266～P269 ・P272～P273 ・P346～P369	・P266～P269 ・P274～P277	・P279～P284	・補足説明資料1.1章
		Ts3a	・P240～P241	・P243～P245 ・P250～P251 ・P258～P259 ・補足説明資料1.1章	—	・P346～P369	—	・P279～P284	・補足説明資料1.1章
海成堆積物	M1	・P240～P241	・P243～P245 ・P252～P253 ・P260～P261 ・補足説明資料1.1章 【EPMA分析】 ・補足説明資料1.1章	・補足説明資料1.1章	・P266～P269 ・P273	・P266～P269 ・P274～P275	・P279～P283 ・P285	・補足説明資料1.1章	
斜面堆積物	Ts2	—	・P243～P244 ・P263～P264	・補足説明資料1.1章	・P266～P269 ・P272	・P266～P269 ・P274～P277	・P279～P283 ・P286	・補足説明資料1.1章	
	Ts1 (Ts1a及びTs1b)	—	・P243～P244 ・P265	・補足説明資料1.1章	・P266～P267 ・P269 ・P272	・P266～P267 ・P269 ・P274～P277	・P279～P283 ・P286	—	

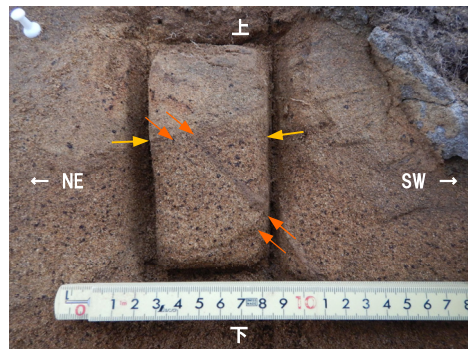
(1)地層区分及びユニット区分

③-1 各種観察・分析・測定結果-研磨片観察・X線CT画像観察(2/2) -

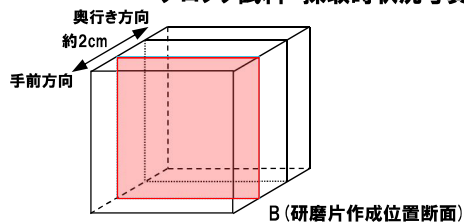
一部修正 (R2/4/16審査会合)



開削調査箇所(南側) 南側壁面
小断層上端付近 拡大写真



ブロック試料 採取時状況写真



傾斜方向研磨片 (解釈線なし) 5cm



X線CT画像 (傾斜方向断面, 解釈線なし) (断面(B): 研磨片作成位置断面) 5cm

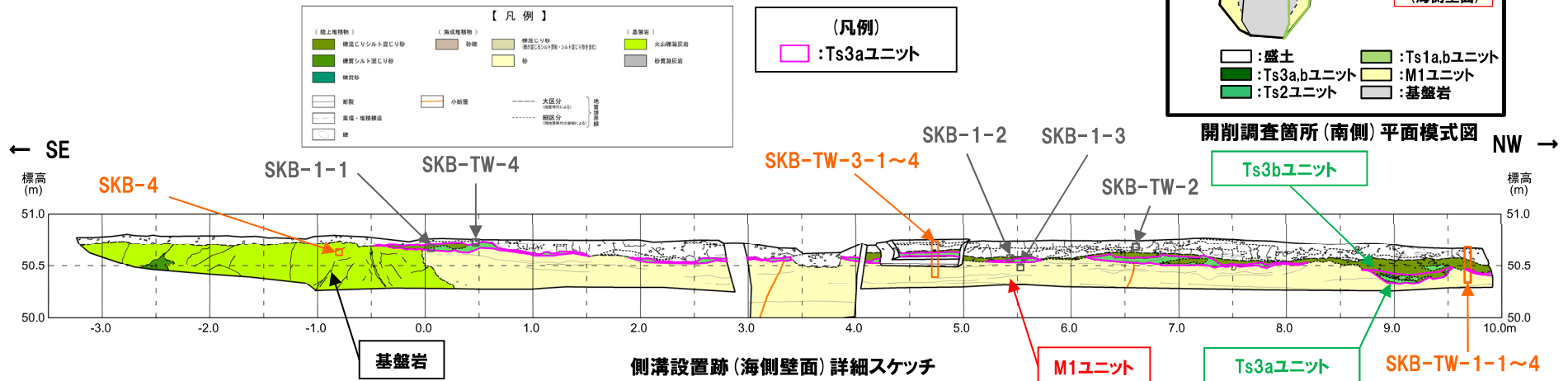
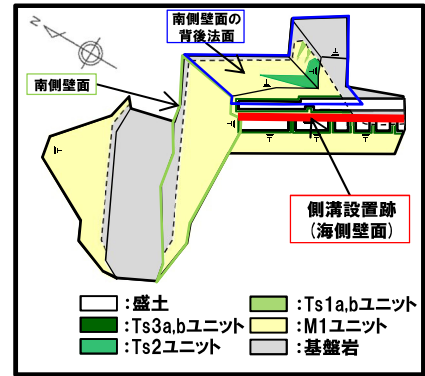
余白

(1)地層区分及びユニット区分

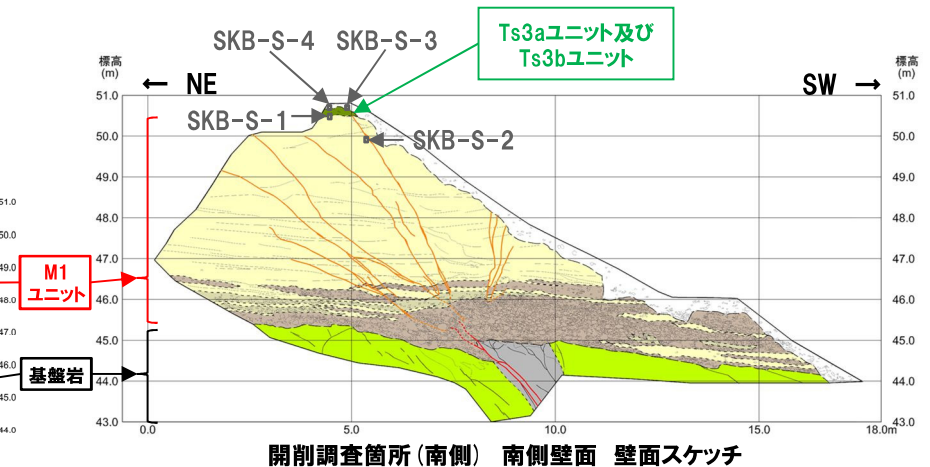
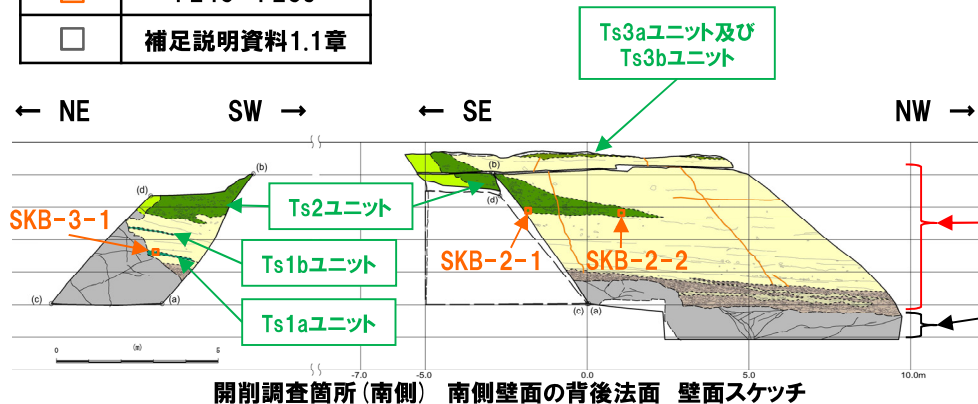
③-2 各種観察・分析・測定結果-薄片観察(1/3)-

一部修正 (R2/8/7審査会合)

- 各ユニットについて、より微細な特徴を明らかにするため、薄片観察を行った。
- 対象箇所は以下のとおり。
 - ・盛土, Ts3bユニット, Ts3aユニット及びM1ユニット
 - ・基盤岩(旧海食崖)である火山礫凝灰岩
 - ・M1ユニットに挟在する斜面堆積物であるTs1aユニット及びTs2ユニット
- 薄片観察の結果、各堆積物及び盛土には異なる特徴(次頁参照)が認められる。



凡例	掲載頁
□	P246~P265
□	補足説明資料1.1章



(1)地層区分及びユニット区分

③-2 各種観察・分析・測定結果-薄片観察(2/3)-

一部修正(R2/8/7審査会合)

○南側壁面及び南側壁面の背後法面における薄片観察の結果、各堆積物及び盛土の特徴を下表に整理した。

薄片観察結果

地層区分	ユニット区分		特徴
盛土	-		<ul style="list-style-type: none"> 粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が薄片試料全体に認められ、局所的に卓越して多い箇所が認められる 粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められない箇所が不規則に分布する 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が混じる 盛土敷均しの影響を受けているものと考えられる粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物からなる薄層及び腐植土が認められる 水平方向に連続する空隙が認められる 植物片が認められる
斜面堆積物	Ts3	Ts3b	<ul style="list-style-type: none"> 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる 粒子間に粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められ、局所的に濃集する 旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来の亜角～亜円礫が認められる
		Ts3a	<ul style="list-style-type: none"> 丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、角ばった砂粒径の碎屑物が少量混じる 粒子間に粘土鉱物及び少量の泥粒径の碎屑物が認められる
	Ts2		<ul style="list-style-type: none"> 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる 粒子間に粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められる 旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来の礫及び岩片が多く認められ、安山岩及び流紋岩等の円礫が認められる
	Ts1		<ul style="list-style-type: none"> 旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来の角礫及び粘土鉱物を主体とし、角ばった砂粒径の碎屑物がわずかに混じる
海成堆積物	M1		<ul style="list-style-type: none"> 丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、粒子の縁に泥粒径の碎屑物がわずかに認められる 粒子間は空隙となっており粘土鉱物は認められない 酸化鉄の沈着が認められる

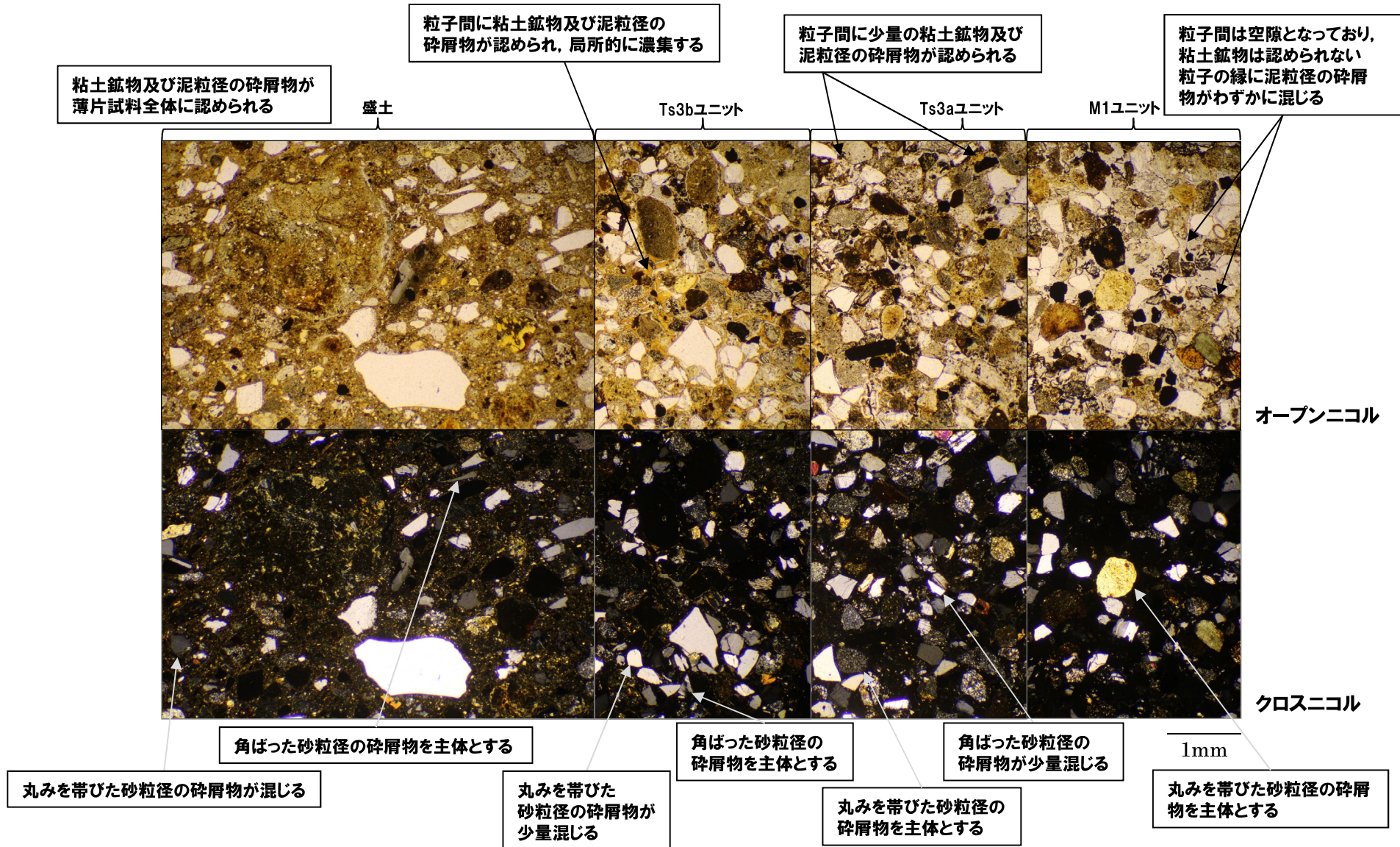


(次頁へ続く)

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 各種観察・分析・測定結果-薄片観察(3/3)-

一部修正(R2/8/7審査会合)



各堆積物及び盛土の特徴の一例 (SKB-TW-1-1~4)

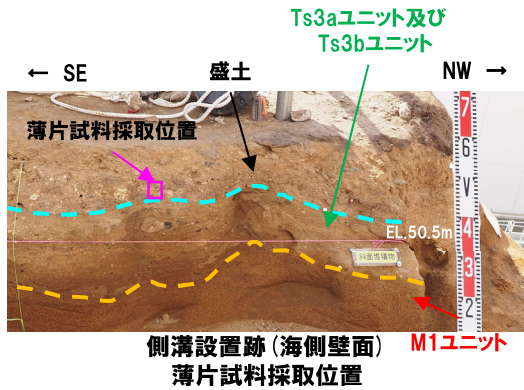
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-1-1(1/2) -

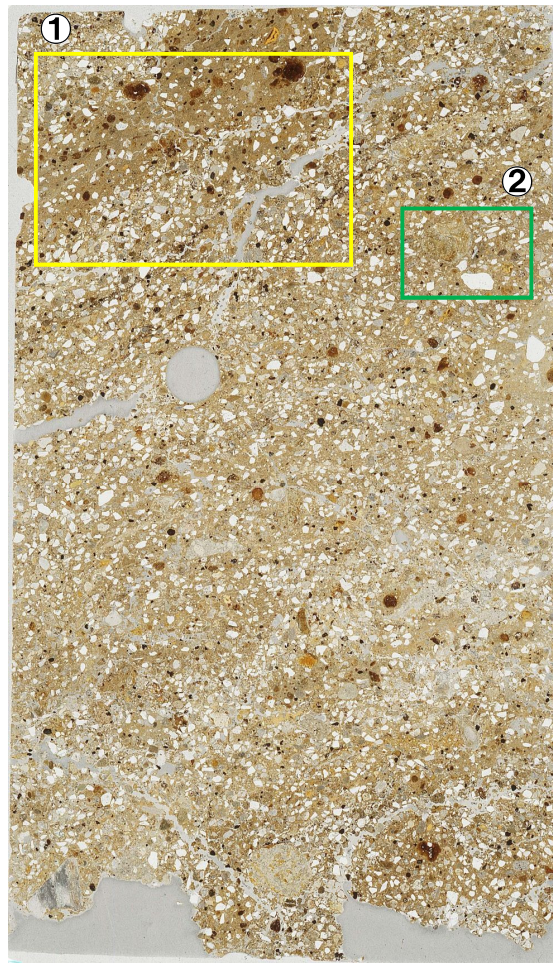
一部修正 (R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-1-1(盛土)】

- 黄褐色を呈する粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が卓越して多い箇所が認められ、内部及び周辺の砂粒径の碎屑物は定向配列している(拡大写真①)ことから、盛土敷均しの影響を受けているものと考えられる。
- A部及びその周辺部(拡大写真②)のように、砂粒径の碎屑物の量及び粒径の異なる箇所が認められ、粒子の形状及び粒径等が変化に富み、不均質な性状を示す。

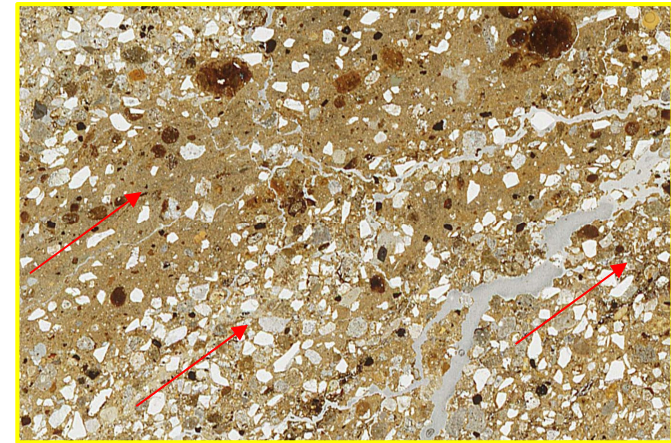


10mm
研磨片写真(左右反転)



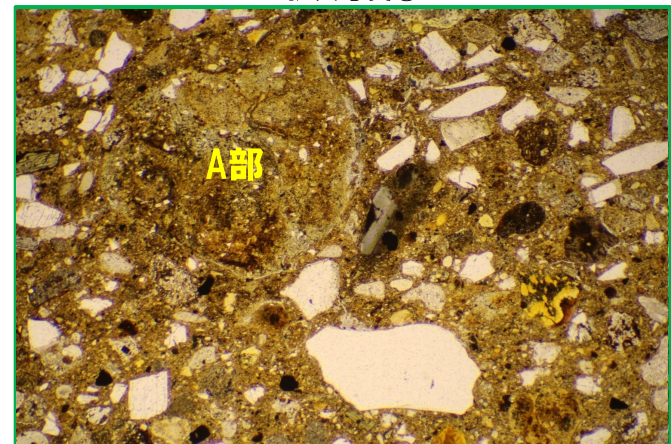
オープンニコル 10mm

<拡大写真①>



オープンニコル 2mm

<拡大写真②>

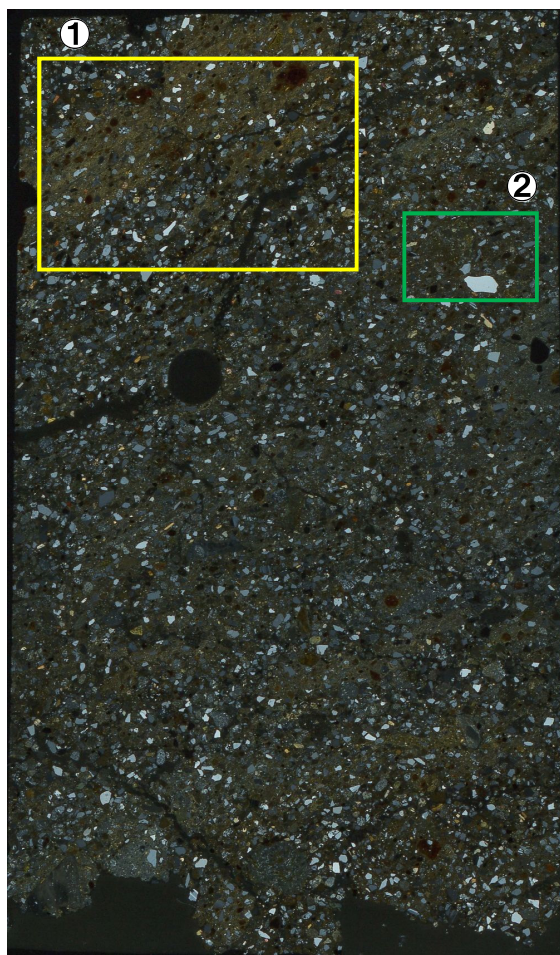


オープンニコル 1mm

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-1-1 (2/2) -

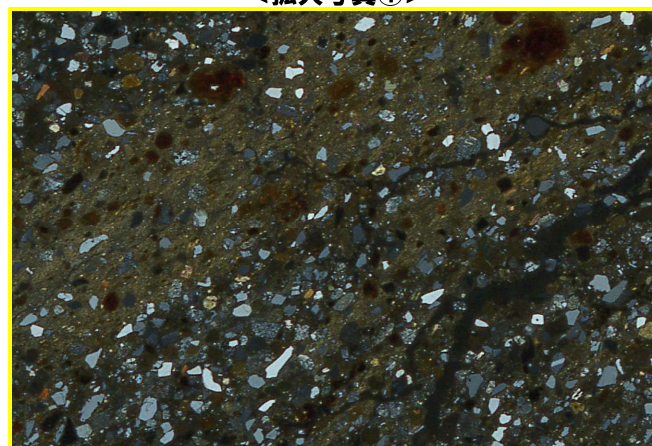
再掲 (R2/8/7審査会合)



クロスニコル

10mm

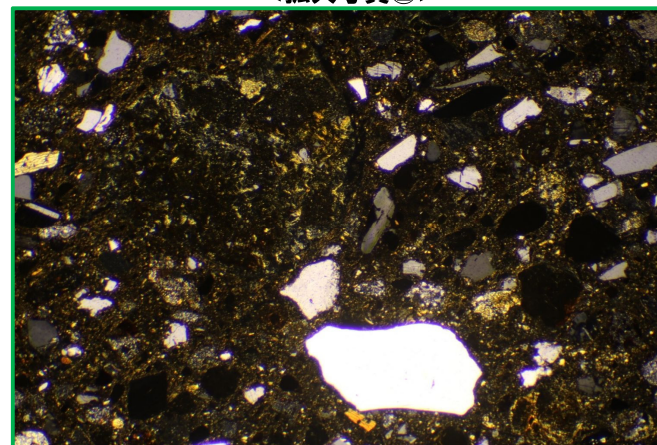
<拡大写真①>



クロスニコル

2mm

<拡大写真②>



クロスニコル

1mm

(1)地層区分及びユニット区分

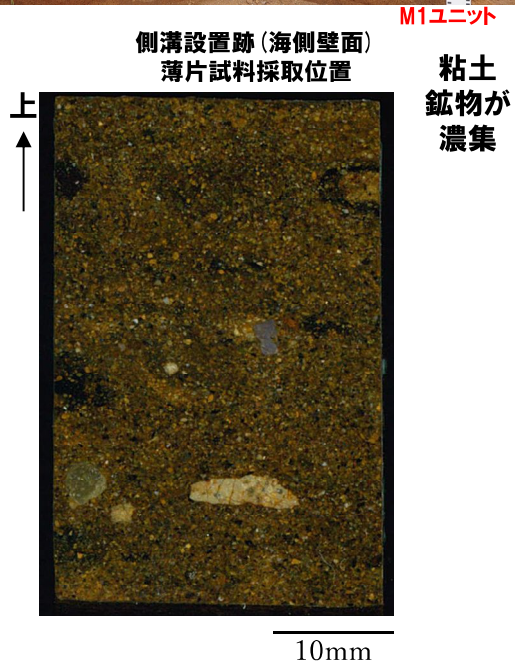
③-2 薄片観察-SKB-TW-1-2(1/2) -

一部修正 (R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-1-2 (Ts3bユニット)】

○角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる。粒子間に粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められ(拡大写真①)、局所的に濃集する(拡大写真②)。

○旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来の細礫サイズの亜角～亜円礫が認められる。



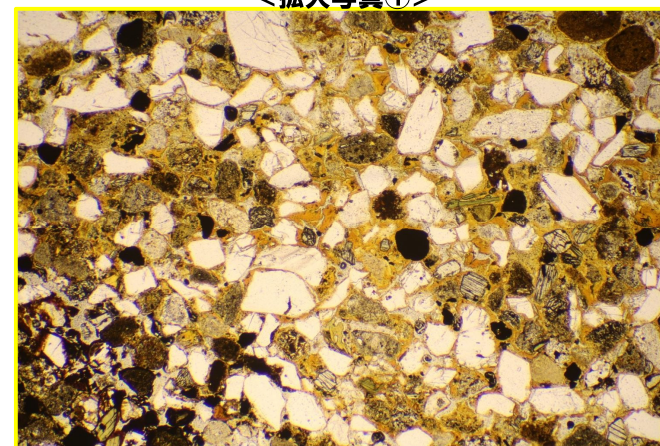
研磨片写真(左右反転)



オープンニコル

10mm

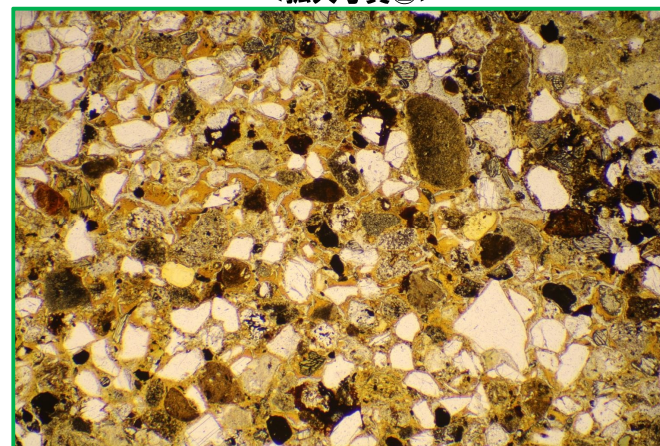
<拡大写真①>



オープンニコル

1mm

<拡大写真②>



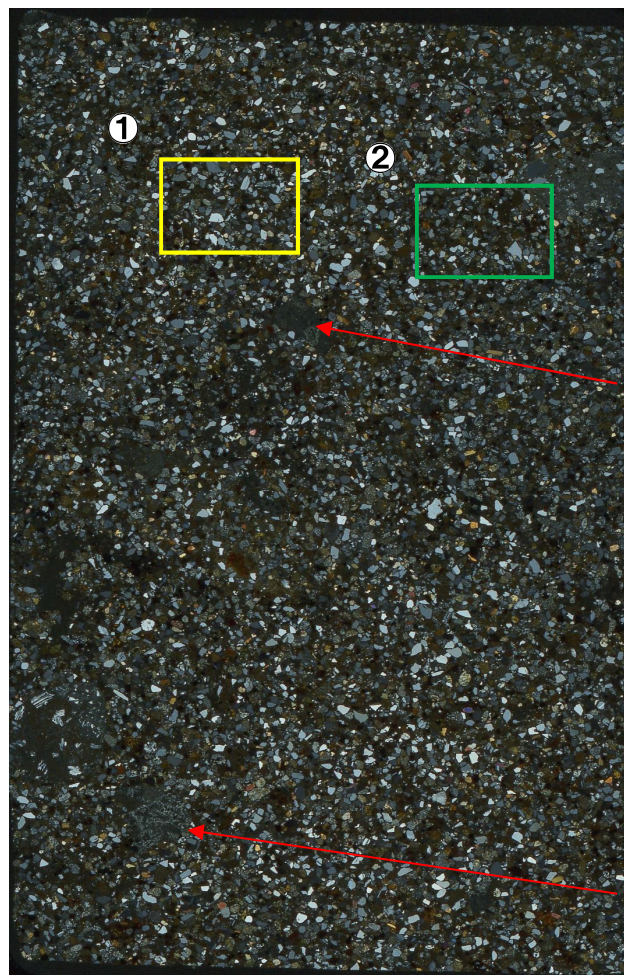
オープンニコル

1mm

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-1-2(2/2) -

再掲(R2/8/7審査会合)



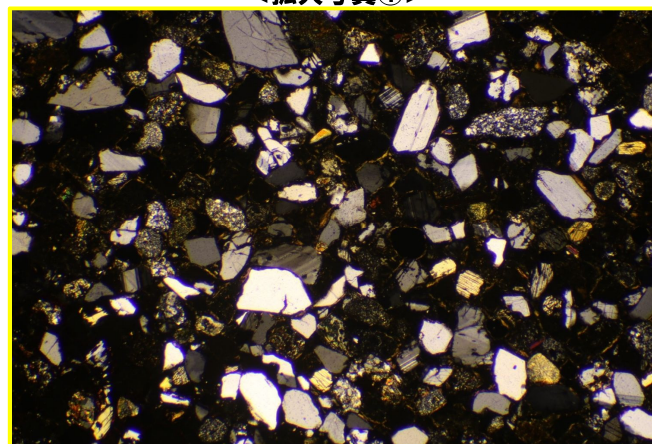
クロスニ科尔

10mm

火山礫
凝灰岩礫

火山礫
凝灰岩礫

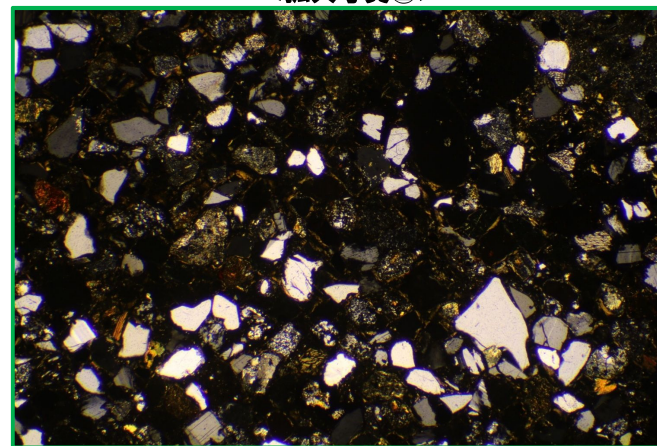
<拡大写真①>



クロスニ科尔

1mm

<拡大写真②>



クロスニ科尔

1mm

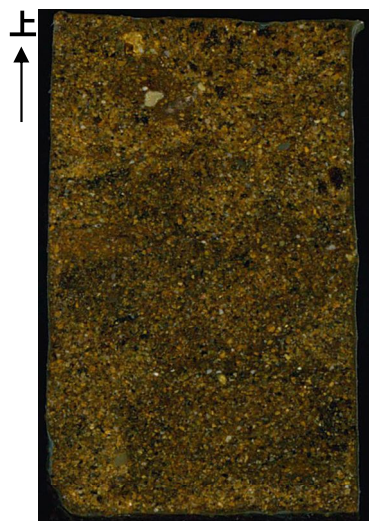
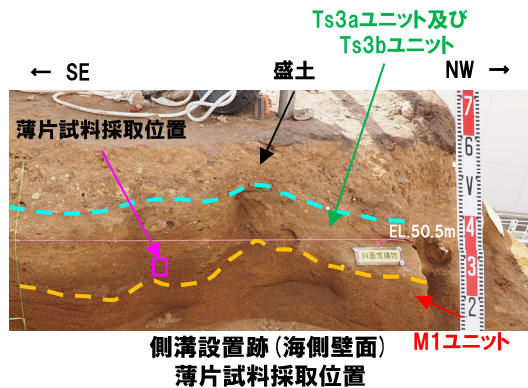
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-1-3(1/2) -

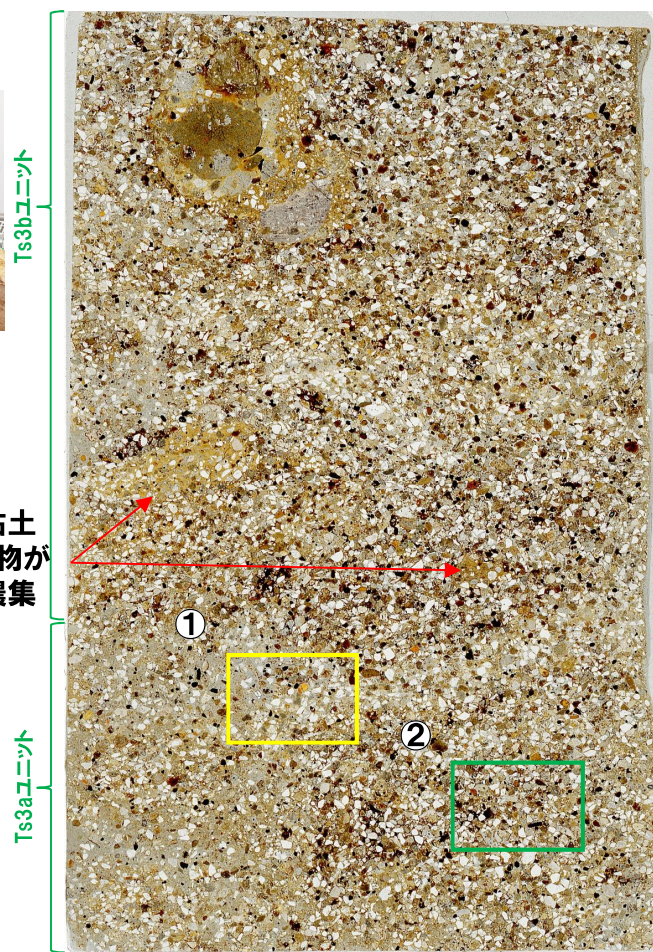
一部修正 (R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-1-3 (Ts3bユニット及びTs3aユニット)】

- Ts3bユニットは、旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来の中礫サイズの亜円礫が認められ、粘土鉱物が局所的に濃集する箇所が認められる。また角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる。
- Ts3aユニットは、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、角ばった砂粒径の碎屑物が少量混じる(拡大写真①及び②)。粒子間に少量の泥粒径の碎屑物及び粘土鉱物が認められる。

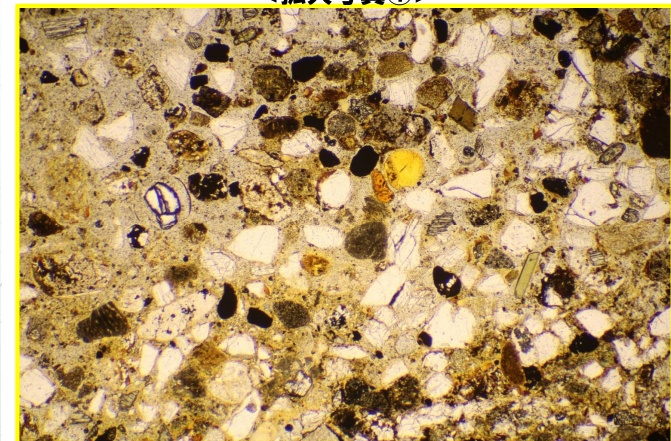


研磨片写真(左右反転) 10mm



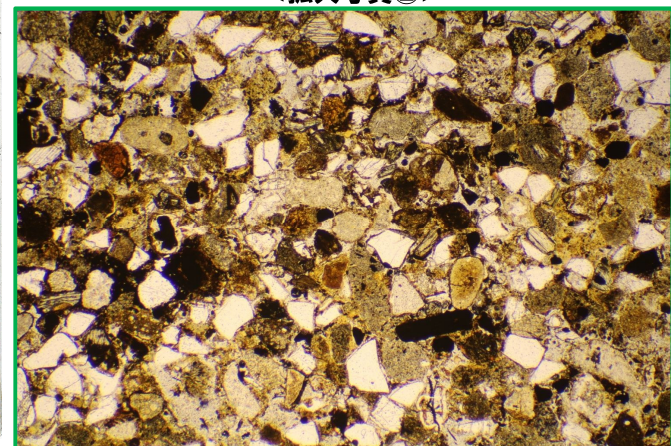
オープンニコル 10mm

<拡大写真①>



オープンニコル

<拡大写真②>



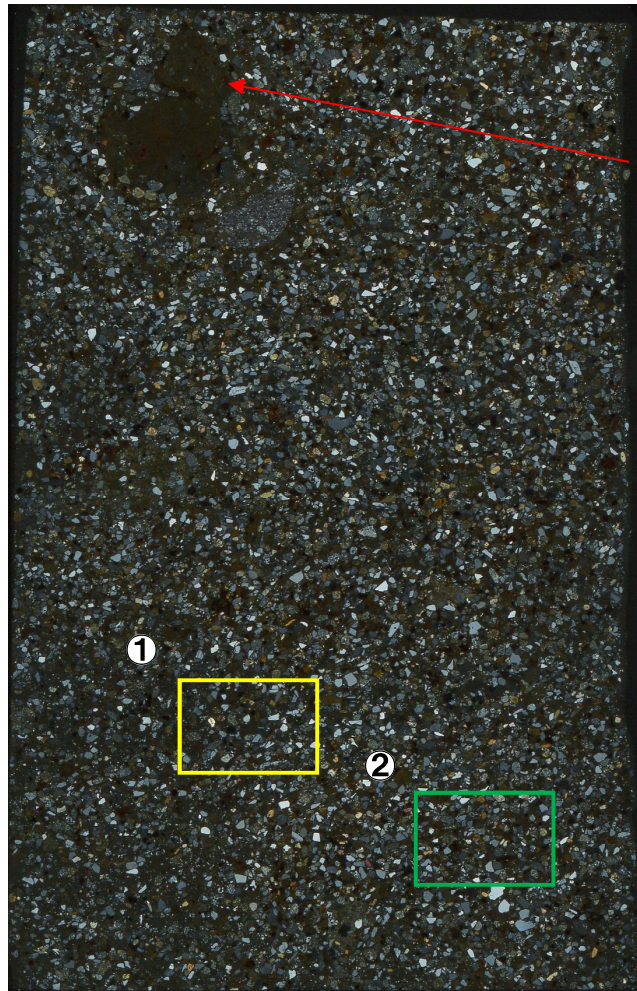
オープンニコル

1mm

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-1-3 (2/2) -

再掲 (R2/8/7審査会合)

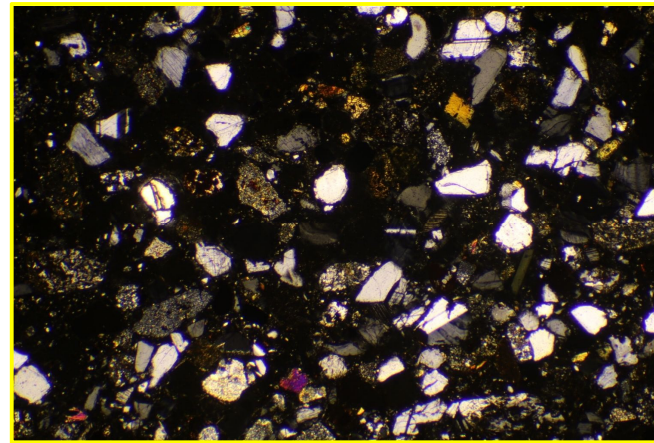


火山礫
凝灰岩礫

クロスニ科尔

10mm

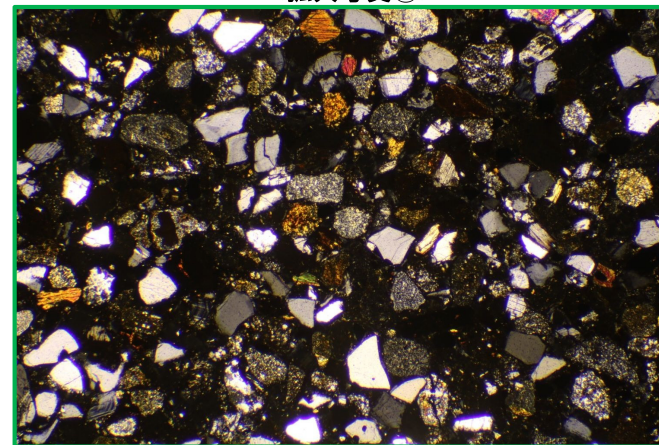
<拡大写真①>



クロスニ科尔

1mm

<拡大写真②>



クロスニ科尔

1mm

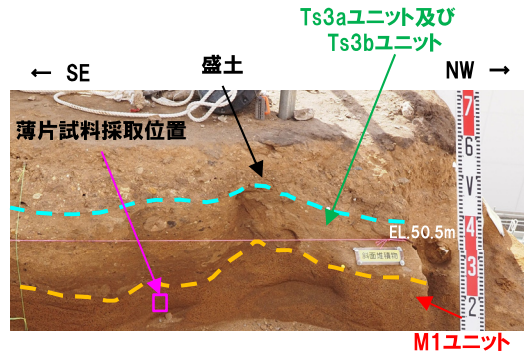
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-1-4(1/2) -

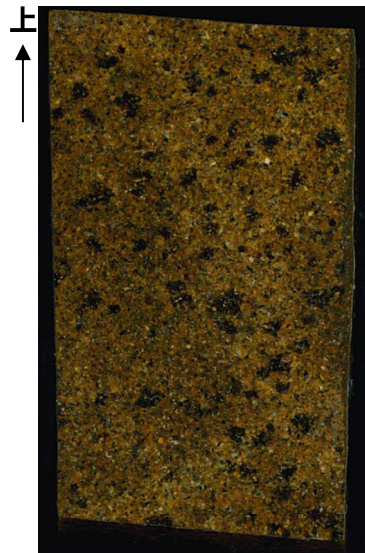
一部修正 (R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-1-4 (M1ユニット)】

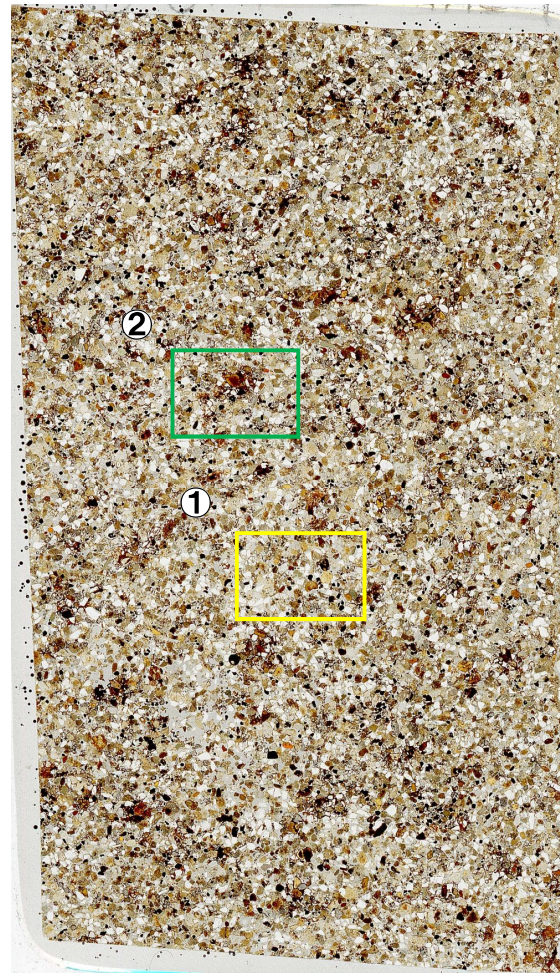
- 丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、粒子の縁に泥粒径の碎屑物がわずかに認められるが、粒子間は空隙となっており粘土鉱物は認められない(拡大写真①)。
- 粒子の縁及び粒子間に酸化鉄の沈着(拡大写真②)が認められる。



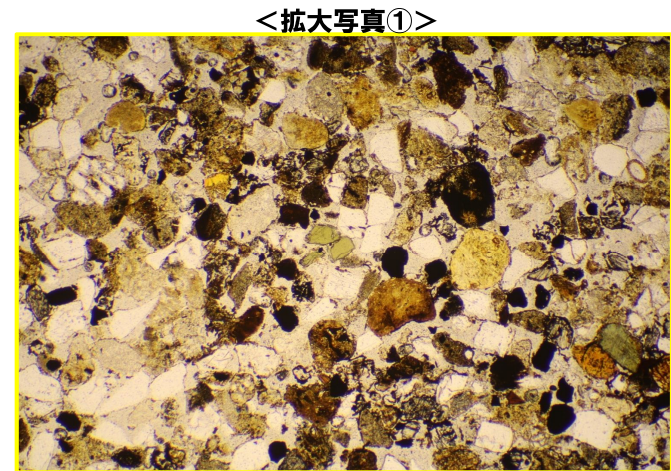
側溝設置跡(海側壁面)
薄片試料採取位置



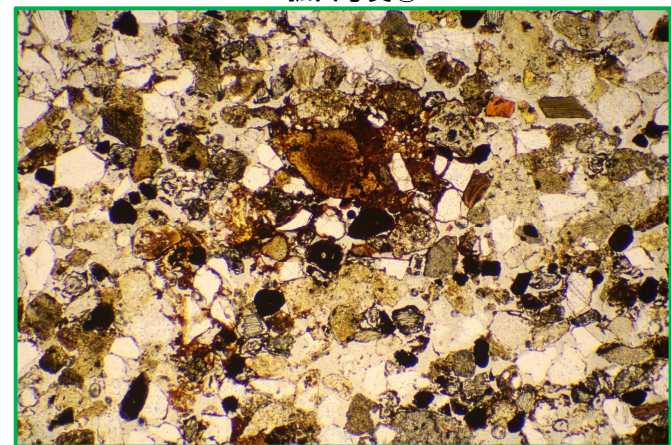
研磨片写真(左右反転)
10mm



オープンニコル
10mm



オープンニコル <拡大写真①>
1mm



オープンニコル <拡大写真②>
1mm